

パトラン

通信

2018年度活動報告書

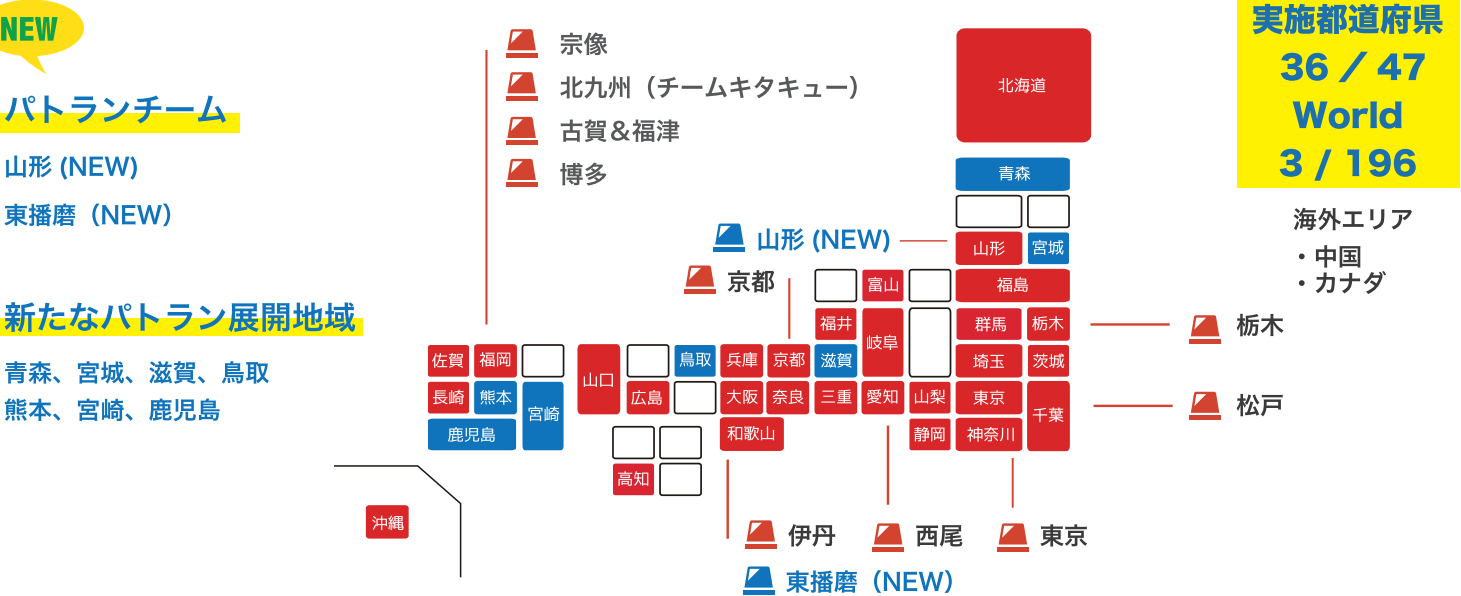


平成ラストイヤー

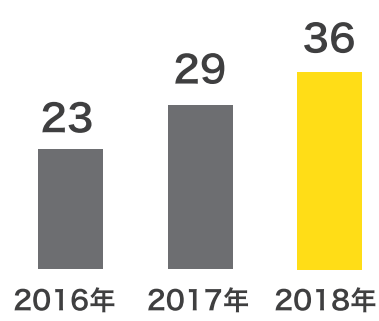
2018/4/1-2019/3/31

2018年のパトランの成果と実績

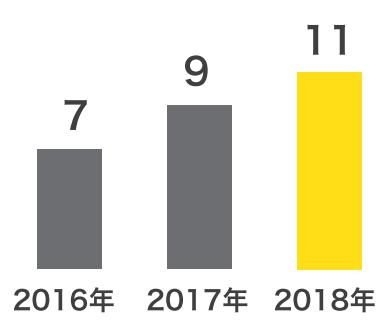
2013年1月からパトランを開始してから6年目を迎えました。展開地域は36の都道府県となり、チームは、新たに2つのチームが立ち上がりました。チーム登録、個人登録メンバーを合わせると1,500人をを超えるメンバーが在籍しています。



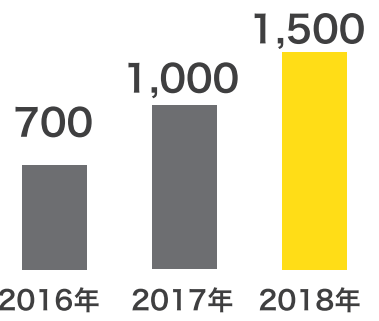
都道府県展開数



チーム数の推移

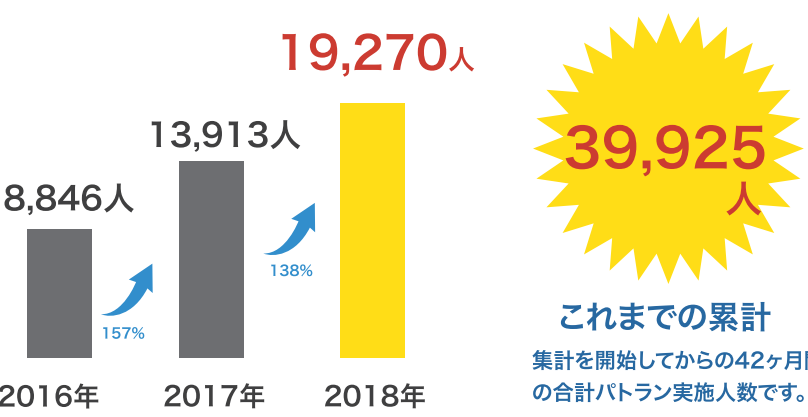


登録メンバー数

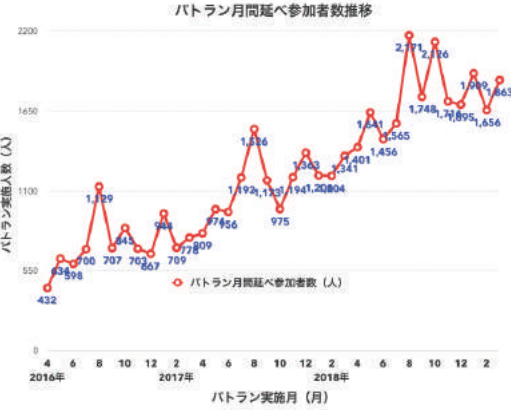


パトラン活動人数

全国各地での1年間のパトラン実施人数の総計です。年々活動人数は増加傾向にあります。



●月間別活動人数の推移



月毎の活動人数の推移です。パトラン強化月間の8月には1ヶ月で過去最高となる2,171人が活動に取り組みました。

活動成果

2018年度の全国各地のパトランによる人助けや犯罪抑制のための報告事項などをまとめています。



救命／人助けの事例



岡田 章さん

/愛知県

愛知県瀬戸市の交差点が事故現場。現場の近くをパトランしていた時、車が衝突する音が聞こえたため、現場へ急行。すると人身事故が起きており、運転手していた女性、車に衝突しケガを負った自転車を運転していた女性、歩道を歩いていて現場を目撃した女性と3人の女性が現場にいるものどうしたらいのかかわからず動揺している雰囲気でした。すぐさま、衝突しケガを負った女性のケガの状態の確認、安全な場所まで誘導します。事故車は衝撃でフロントガラスが割れ、ボンネットが開いている状況。二重事故を防ぐため事故車のハザードをたき、警察が現場へ到着するまで交通誘導を行いました。救急車の到着や警察の到着で現場が落ち着いたことを見届けるまでサポートしました。



佐藤 恵一さん

/山形県

パトラン山形 米沢チームの合同パトラン集合場所の米沢市役所に向かう途中でした。集合場所まで単独パトランの途中だったのですが塾の先生に「パトランさんですね?!」と呼び止められました。聞けば、男性高齢者が散歩中につまずき転倒し動けない状況で路上にいるので何とかして欲しいとの事（塾の生徒さんがその方を発見した模様）急ぎ現場に向かい、状況を本人から確認しました。つまずき転んで、立ち上がろうとするとよろよろの状況でした。（酒の匂いも確認、飲酒はない様子）ケガはなく家も近所との事だったので、とりあえず救急車ではなく警察に連絡をするよう塾の先生に依頼。支えがあると歩けるとのことで、通りすがりの学生さんに協力を仰ぎ、様子を見ながら学生さんと一緒に自宅アパートまで送りました。そこへ、通報を受けた大門交番の巡査が来てくださったので、引き継ぎました。



番場 英知さん

/千葉県



設置されたカーブミラー

2018年4月頃、松戸に外環道のインターが出来たのを機会に、周囲の一般道も少し変化しました。その時から、ここのカーブは遮音壁でカーブ先の車が見えない上、道路幅が狭いので相手がこちらの車線にはみ出て走行してくる。また、カーブ手前はどちらも長い直線になっておりスピードを出して曲がる車が多かったのでもとても危険でした。実際轢かれかけている自転車を数台目撃していました。なんとかしたいと思い、そのことを9月上旬に松戸市役所の交通課へ連絡。その後、管轄が国交相との連絡があり国交相へ要望を出しました。時間をいただくが検討するという返事をもらい、それからしばらく経過したのち、問題あった箇所にカーブミラーが設置されました。

外務省の日本文化を紹介するメディアで紹介

Japan Video Topics

パトランの取り組みが「日本ビデオトピック (Japan Video Topics)」のホームページで公開されました。この番組は外務省が制作しており、日本文化を世界に向けて発信することを目的としています。日本語、英語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語、中国語及びアラビア語版で放送されています。「パトランを日本の文化として世界に発信する」をひとつの目的に掲げ、パトランを推進していますが、それが形になりました。2020年の東京五輪に向けても弾みがつきそうです。

<https://web-japan.org/>





Runners on Patrol
Keeping Japanese Streets Safe

パトランチーム

2018年度は新たに山形と東播磨(兵庫)の2チームが誕生し、チーム数は全国で11となりました。

全国のチームメンバー総数

1,089人

全国のチーム活動総数

688回

チームの歴史

全国に12つのパトランチームが存在します。

2015年8月
パトランJAPANスタート

東京チーム

山形チーム

東播磨チーム

伊丹チーム

京都チーム

西尾チーム

松戸チーム

博多チーム

栃木チーム

古賀&福津チーム

北九州チーム

東京は2019年4月にスタート

201320152016201720182019

北九州チーム

FUKUOKA

2019年度チーム代表

仲村 龍治

チーム活動回数

148回

メンバー数

577人

2018年度のチームの取り組み

2015 年 10 月から活動を開始し多くの方々に参加していただいています。パトランの認知度も向上し、参加人数も順調に伸びた1年でした。

2019年度の展望

今年度は、実施地区の 10 地区目が誕生、実施回数 500 回を達成する見込みです。また、昨年度参加しハッスル賞をいただきました、わっしょい夏まつり「百万踊り」にも参加し、さらなる上位入賞をと意気込んでいます！身近にできる地域貢献として、さらにパトランを知っていただき、継続して参加したいチームを目指していきます。

古賀&福津チーム

FUKUOKA

2019年度チーム代表

溝口 憲一

チーム活動回数

36回

メンバー数

30人

2018年度のチームの取り組み

パトラン古賀&福津チームは、古賀市と福津市の二つの市を跨いでおり、活動範囲が広く、4 つの駅が存在しているため毎週それぞれの駅を中心にパトランしています。まだまだメンバーが少なく、古賀市、福津市での認知度が低いいため積極的に PR 活動を行なっていくことが必須だと考えています。

2019年度の展望

地元フリーペーパーへの掲載が決まったので、多くの方にパトランの活動を理解して頂き、賛同してくださる方を 1 人でも多く増やしていきたいと思います。

宗像チーム

FUKUOKA

2019年度チーム代表

時安 里江

チーム活動回数

149回

メンバー数

40人

2018年度のチームの取り組み

昨年度は定例パトラン 85 回、子ども見守りパトラン 43 回、イベント 21 回開催することが出来ました。週 2 回の定例パトランと月 4 回の子ども見守りパトランは、安定した活動となり、地域の多くの皆さんに安心した活動として周知されてきています。昨年度初めて行った取り組みとして、女性参加限定のパトランを開催しました。女性視点での防犯、女性が防犯活動を行うことで自らの身の安全の危機管理ができる事を目的としています。

2019年度の展望

更に今年度は女性メンバーを増やしていき、気楽に継続的に参加できる活動とチームを目指して行きたいと思います。

栃木チーム

TOCHIGI

2019年度チーム代表

上武 順子

チーム活動回数

64回

メンバー数

113人

2018年度のチームの取り組み

・はか路ふれあいマラソン大会での救護ランナーの請負
・アビーズ 社主催ランナーズ栃木 30k でのコース誘導巡回要員の請負

2019年度の展望

2019 年度は近隣県東京チームも発足、元号も変わり幕開けの年を感じます。東京オリンピックも間近に控え各都道府県、市町村からはじまる安全で安心なまちづくりの繋がりが日本の象徴と印象付けられるのだと思います。栃木チームにおいても機会があれば自治体活動にも参加させて戴くなど皆さんが参加しやすい活動、計画を行い活動に励みたいと思っています。

博多チーム

FUKUOKA

2019年度チーム代表

立花 祐平

チーム活動回数

30回

メンバー数

23人

2018年度のチームの取り組み

これまで月2回のペースで実施エリアも1地区と無理のない範囲で続けてきましたが、関わるメンバーが増え、活動回数は月4回、拠点は3地区と大きく広がりをみせた1年となりました。

2019年度の展望

2019 年度からはまた新たに1地区が追加となり、中央区、博多区、西区、東区の4地区で活動を実施します。ひったくりや放火、性犯罪などの事案も多い福岡市の犯罪数の大幅な減少を目指しコツコツと活動を継続させていきます。

松戸チーム

CHIBA

2019年度チーム代表

竹内 誠二

チーム活動回数

30回

メンバー数

80人

2018年度のチームの取り組み

松戸警察署から活動が認められ、初の感謝状をいただきました。またチームメンバー交流の南部市場リレーマラソンや松戸警察と合同での防犯啓発チラシ配り・交通安全の出動式参加に参加しました。

2019年度の展望

チーム結成から 3 年目を迎えまして、徐々にではありますが知名度も上がっています。今期も、チーム一丸となり松戸市の安全で安心。スマイル松戸チームとしてパトラン活動していきます。

伊丹チーム

HYOGO

2019年度チーム代表

岩佐 光哲

チーム活動回数

40回

メンバー数

22人

2018年度のチームの取り組み

チーム定例パトランは 8 のつく日と定め伊丹警察署と合同で通年実施しています。また、毎月幹部会議を開催してこれからのチーム運営や課題について意見交換や情報交換を定期的に活動してきました。11 月には伊丹警察署より「安心安全ピーアールサポーター」の委嘱を受けました。

2019年度の展望

チーム伊丹は持ち前の真面目さと冷静さで着実に活動をしていきますのでこれからもよろしくお願いします。

山形チーム

YAMAGATA

2019年度チーム代表

佐々木 謙介

チーム活動回数

57回

メンバー数

52人

2018年度のチームの取り組み

・スポーツゴミ拾い大会（スポGOMI）への参加
・イオン米沢店でパトランブース出展
・天童ラフランスマラソン大会でパトランブース出展
・米沢市の PR 動画「米沢ブランドムービー」への出演
・米沢警察署との大合同パトラン

2019年度の展望

山形チームは 2020 年までに県内 35 市町村にパトランナーを配置することを目標としています。その目標に向けて毎月 15 日の山形一斉パトランの日にはパトランナー不在の地域にも足を運び、多くの人々の目に触れることでパトラン活動を広く県内に周知していきます。

西尾チーム

AICHI

2019年度チーム代表

神谷 浩子

チーム活動回数

40回

メンバー数

58人

2018年度のチームの取り組み

地元のイベントや観光地のイベントに PR がかねて参加（マラソン参加、サポーター、祭りでブース）を実施しました。また、行政と安全町づくり活動、交通安全運動啓発、反射材の配布と街灯れチェックを重点にパトロールも実施しました。

2019年度の展望

チームを設立してから 3 年目、地域と密着し、みんなでワクワクパトランをスローガンにして活動します。反射材の配布も継続し、街灯切れチェックから地域の安全を見守る活動をしたいと思います。

京都チーム

KYOTO

2019年度チーム代表

鳥本 光照

チーム活動回数

90回

メンバー数

84人

2018年度のチームの取り組み

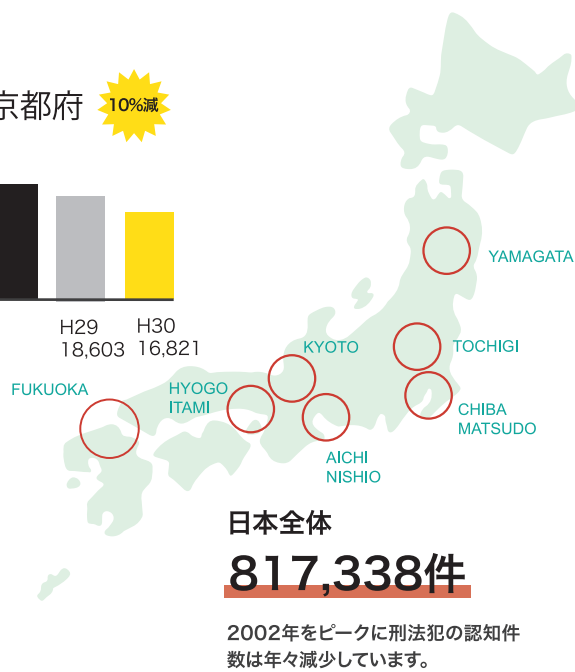
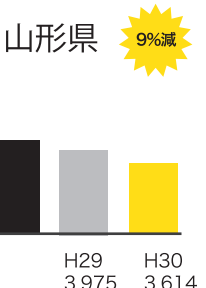
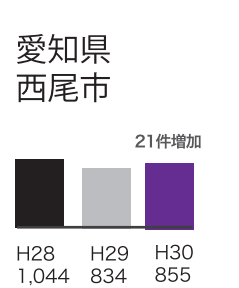
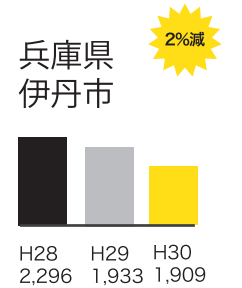
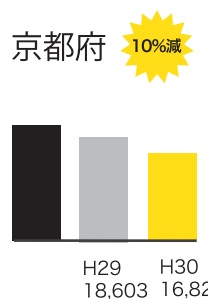
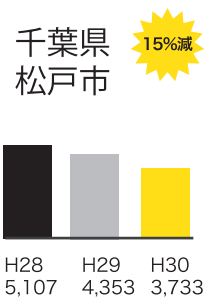
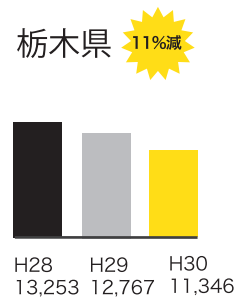
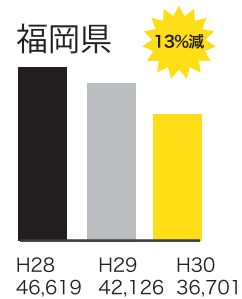
・リエゾン京都@活動参加・ピースラン@サポート
・ラン伴@宇治サポート

2019年度の展望

京都のなかでも、星くずが多いエリアや街灯が少ないエリアなど、パトランをする内容や重点課題も様々だと思います。そのため、各地域のニーズに合わせたパトランの展開が出来るように、各メンバーと話し合いながら、活動を拡大していきたいです。京都チームが築いてきた経験を、大阪、滋賀、奈良といった近隣のこれからチームを作るパトランメンバーにも還元し、関西を盛り上げていきたいと思っています。

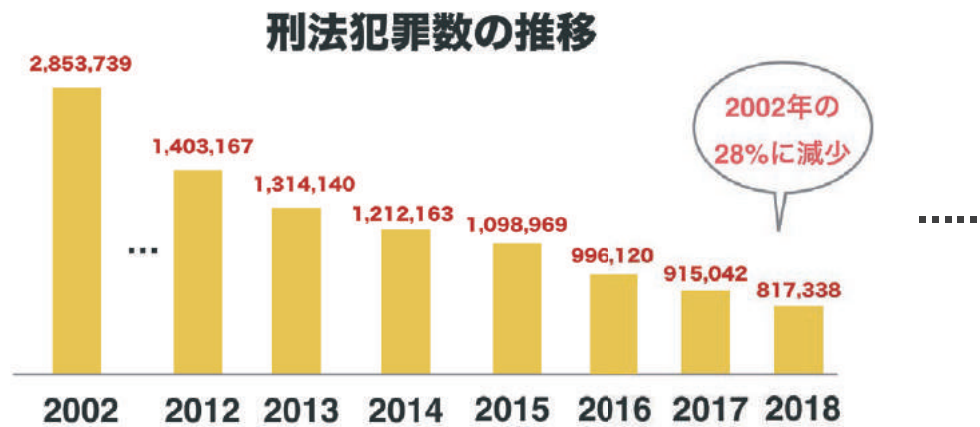
チーム活動地域での犯罪数の推移

パトランチーム活動エリアでの2018年度の刑法犯の認知件数の推移です。
パトラン実施エリアに至っては、10%を超える犯罪減少率の地域が多くあります。



日本全体

刑法犯の認知件数は2002年をピークに年々減少を続け2018年度は過去最少の件数となりました。

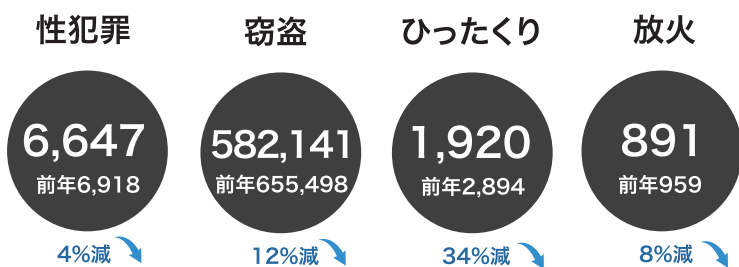


都道府県別		前年比
東京	114,492件	(▲ 8.6%)
大阪	95,558件	(▲ 10.7%)
埼玉	60,001件	(▲ 5.3%)
愛知	55,080件	(▲ 15.9%)
神奈川	46,780件	(▲ 12.8%)
千葉	46,698件	(▲ 11.8%)
兵庫	44,233件	(▲ 13.0%)
福岡	36,701件	(▲ 12.9%)

パトランチームがある県では犯罪数が大幅に減少しています。

パトランで対象とする街頭犯罪の認知件数

パトランで抑制できる対象としている4つの犯罪数もそれぞれ減少に転じています。

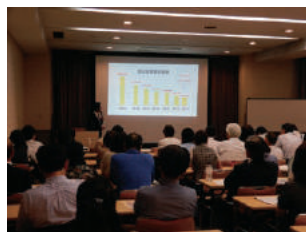


福岡県安心安全まちづくりアドバイザーに就任し、防犯啓発活動にも取り組んでいます。

安心安全研修会や大学の講義などでパトランの取り組みを中心に地域の安全づくりについて講演を引き受けました。



就任した立花



講演の様子

パトランJAPANでの取り組み

パトランJAPANでは新たにパトランメンバーが集まりこれからを考えるパトランナーズサミットや防犯知識を高めることを目的としたスタディツアーなどを新たな取り組みとして開始しました。

パトランナーズサミット

パトランナーズサミットは、パトランメンバーが集いパトランのこれからや課題などについてメンバー同士で協議する場です。9月1日、宗像市のグローバルアリーナでは、パトラン宗像チーム、北九州チーム、古賀福津チーム、博多チームの面々が集いました。11月3日、パトランナーズサミット第2回は大阪を舞台に、京都チームと伊丹チームのメンバーが集まりました。



パトランスタディツアー

2019年1月21日に福岡県警本部と福岡刑務所へパトランチーム代表・幹部メンバーと視察に行ってきました。防犯への知識を高め日々のパトロールの質を高めていくことが主な目的です。これからのパトロールにつながるヒントを得ることができました。



サンタパトラン

今年も全国各地で「サンタパトラン」が開催されました。今年は総勢100人を超えるサンタパトランナーが「メリークリスマス」を届けました。大阪のサンタパトランは今年初めてで大阪マラソンのチャリティ寄付先団体のブル・ボランティア、日本クリニックラウン協会さん合同で行いました。



マラソン×パトラン



OSAKA MARATHON

2018年度も、第8回大阪マラソンにチャリティ寄付先団体として選ばれ、大会の運営に関わらせていただきました。2017年にも増して、パトランからも多くのチャリティランナーがエントリーしました。全国からパトランナーが集まる貴重な機会にもなり、メンバー同士の交流促進にもつながります。2019年もチャリティ寄付先団体として選ばれましたので今年も大いに大会を盛り上げつつ、パトランメンバー同士のつながりを強化していきます。



第5回はが路ふれあいマラソン救護ランナー

栃木チーム

東京の渡部さん、松戸の白沢さん、庄司さんとパトラン栃木メンバー15人ではが路ふれあいマラソンの救護ランナーとして参加しました。救護ランナーとしては、脚の痛みのある方にエアサロンパスをかけ、動けなくなった方を救護本部に連絡し救護車を手配したり、汗冷して歩いてる方にアルミブランケット掛けたり、走ってるランナーさんに元気になるよう声を掛けたりしました。幸いにも重傷者に遭遇せず良かったです。最終関門付近では、数キロ手前からランナーさんに関門時間と残りの距離とペースを伝えひとりでも多くのランナーさんに関門突破出来るようサポートしました。最終ランナーさんをみんなで完走まで見届け感動を頂きました。完走したランナーさん数名の方からは『救護ランナーの方のお陰で完走出来ました』と嬉しいお言葉を頂きました。今回も無事任務遂行出来て良かったです。

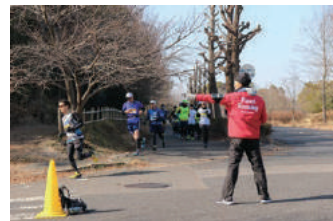


2019年12月16日(日)

愛知30K 大会運営のサポート

西尾チーム

愛知県名古屋市長区「大高緑地公園」にて「愛知30K」アールピズ主催の大会サポートとして昨年に引き続き参加しました。西尾チームと愛知県在住メンバーさん12名で朝6時から16時半まで会場設営、参加者の皆さんへの案内、安全の確保、荷物預かりや大会での観察や誘導、ペース業務などを行いました。また会場内にてパトランブースを設け、会場の皆さんに手配りにて「パトランの紹介」、ブースに来て頂いた方には活動説明などを実施。今後、「愛知30K」を通してパトランをご理解して頂ける方が増えれば嬉しいです。



2019年2月17日(日)

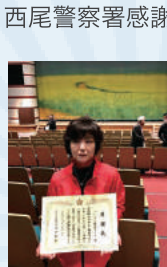
NEWS

パトラン全体
表彰実績

パトランを実施する各エリアにて警察賞および行政から表彰及び感謝状を贈呈いただきました！



西尾チーム



山形チーム



松戸チーム



伊丹チーム



パトランJAPAN



渡部 信隆さん

東京都青少年・治安対策本部長賞



張替 武雄さん

葛飾区長表彰



岩田恩紀さん

平成30年度北九州市職員表彰



パトラン中の人助けなどを行ったメンバー
20人に対してJAPAN事務局より感謝状を送らせていただきました。

渡部 信隆、諏訪 和男、佐々木 謙介、白沢 雄司、家門 寿徳、原田 直樹、成瀬 訓美子
立岩 義典、谷川 勇太、高橋 憲司、番場 英知、平田 和夫、岡田 章、高橋 一正
佐藤 恵一、黒川 真一、小野村 守宏、水村 和香、志賀 俊介、鳥本 光照

順不同

NEWS

パトラン全体
メディア実績

新聞

31回

テレビ

17回

ラジオ

6回

WEBメディア

4回

<2017年度> 新聞36回 テレビ10回 ラジオ6回 WEBメディア3回
<2016年度> 新聞8回 テレビ4回 ラジオ1回

日時	種類	媒体	取材対象
4月7日	NHK	週刊まるわかりニュース	北九州
4月10日	テレビ	KBCシリタカ	博多
4月12日	新聞	三河新報、愛三時報	西尾
4月23日	新聞	西日本	北九州
6月号	雑誌	ゴールデンライフ	松戸 始澤万来女さん
5月10日	テレビ	KBCアサデス九州	古賀&福津
5月20日	新聞	毎日新聞折り込み情報誌	北九州
5月21日	地方紙	福岡小学生新聞	北九州
5月22日	新聞	西日本新聞	北九州
5月25日	新聞	毎日新聞	北九州
5月29日	ラジオ	ヨコハマFM	竹内 久美子さん
6月1日	新聞	愛三時報 三河新報	西尾
6月2日	ネット	おりお安心ネット通信	北九州
6月16日	新聞	毎日新聞	北九州
6月30日	地方紙	福岡小学生新聞「We can!」	北九州
7月11日	テレビ	RKB今日感ニュース	北九州
7月20日	新聞	米沢新聞	山形
7月20日	新聞	朝日新聞	山形
7月20日	地方紙	折尾西市民センターの館報7月号	北九州
7月30日	新聞	毎日新聞	北九州
8月5日	ラジオ	FM KITAO	北九州
8月7日	新聞	西日本	北九州
8月16日	新聞	愛三時報	西尾
8月17日	新聞	毎日新聞	北九州
8月20日	ラジオ	エフエム富士	JAPAN
8月20日	テレビ	ゲッソーキン	伊丹
8月24日	テレビ	さくらんぼTV	山形
8月24日	テレビ	NHK	山形
9月1日	外務省	日本ビデオトピック	JAPAN

日時	種類	媒体	取材対象
9月24日	機関紙	株式会社日立金属若松	北九州
9月25日	テレビ	JCOM「デイリーニュース」	北九州
9月28日	フリーペーパー	シティリビング	京都
10月4日	新聞	毎日新聞	北九州
10月12日	新聞	三河新報と愛三時報	西尾
10月12日	テレビ	NHK総合	北九州
10月13日	テレビ	まちがスキー	宗像
10月14日	新聞	毎日新聞	北九州
10月11日	市報	地方紙	古賀&福津
10月15日	市報	天童市報	山形
10月16日	新聞	西日本新聞	北九州
10月18日	テレビ	JCOM	北九州
11月14日	ラジオ	RKB	北九州
12月3日	新聞	毎日新聞	北九州
12月	テレビ	ローカルテレビ	京都
12月13日	WEB	withnews	北九州
12月28日	新聞	新聞	山形
12月28日	ケーブルテレビ	ケーブルテレビ	山形
12月28日	メディア	東京都	東京
12月29日	ラジオ	TOKYO FM	JAPAN
1月6日	新聞	西日本新聞	北九州
1月13日	新聞	西日本新聞	北九州
1月14日	新聞	毎日新聞	北九州
1月18日	テレビ	JCOM	北九州
2月16日	テレビ	FBSめんたいワイド	糸島
2月16日	テレビ	RKB	北九州
2月17日	ラジオ	KBS	京都
2月18日	テレビ	RKB	北九州
3月27日	新聞	読売新聞	東京

認定パトランナー Certification Patorunner

認定パトランナーはパトランJAPAN公認のパトランナーです。一定の基準をクリアすることで認定されます。
2018年度で20人の認定パトランナーが誕生しました。



竹内 久美子さん／神奈川



川畑 信章さん／愛知



花田 浩考さん／福岡



鳥本 光照さん／京都



神谷 浩子さん／愛知



吉村 政和さん／中国



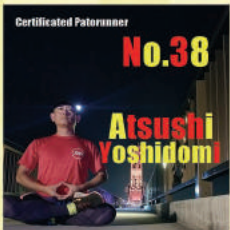
麓 加誉子さん／千葉



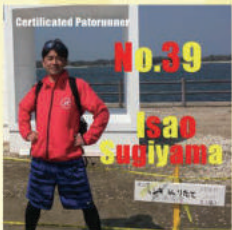
石田 卓也さん／京都



高瀬 征樹さん／千葉



吉富 敦思さん／佐賀



杉山 勲さん／愛知



永井 敦さん／福岡



千葉 英晃さん／宮城



鳥居 久美さん／京都



渡邊 拓さん／埼玉



高橋 憲司さん／東京



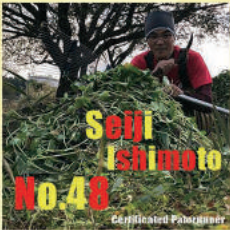
諏訪 和男さん／茨城



平田 和夫さん／奈良



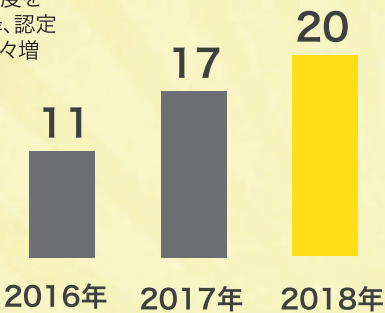
小笠原 俊道さん／青森



石本 聖次さん／熊本

認定推移

認定パトランナーの制度を始めた2016年度以降、認定パトランナーの数は年々増えています。



エリア別認定パトランナー数



認定パトランナー一覧はこちら





YURI YAMAZONO やまその 有理さん

表紙の パトランナー

関西圏では、伊丹・京都・東播磨の3つのチームが活動しています。関西全体の登録メンバーも年々増えています。そんな関西でのパトランの火付け役となったのは伊丹チーム所属のやまその有理さん。パトランを始めたきっかけや魅力について伺いました。

パトランをきっかけに新しいことにチャレンジする 姿がいいなあとと思っています

パトランをはじめたきっかけ

2017年1月頃、松戸のパトランメンバーの始澤さんに熱く進められたのがきっかけです。活動は知らなかったのですが、始澤さんがとにかく楽しそうな様子で話していたので、パトランって楽しい活動なんだろうなと思い登録してみました。地元では女性消防団の一員として活動したり、防災士の資格も持っているので、街の防犯に関心はあったものの、いち個人として何ができるかわからず。パトランの場合は、走ることが防犯につながるという気軽さも良かったです。

私が活動を始めた2年前は関西にはまだメンバーもいなかったもので、最初は1人でできる時にコツコツと活動していました。その様子をFacebookで発信していたら興味を持ってくれる友人や知人がいて、パトランっていいねという輪が少しずつ広まった感じです。一緒に活動できる仲間ができ始めた頃からチーム化を目指し活動するようになりました。今は、伊丹チームの活動とできる時に単独でのパトランを行っています。

パトランの魅力

パトランTシャツ着て走るだけで社会貢献に参加できているという気軽さと全国の仲間との繋がりだと感じています。社会貢献ってどうやったらできるんだろうかと悩む人も多いと思いますが、パトランは気兼ねなくできる活動で、参加ハードルも低いことが魅力です。またFacebookを介して全国各地に仲間がいるので出張先での仲間との交流も楽しんでいます。あと、チームを設立して感じたのは、パトランを通じて

メンバーの意識が変わっていく姿を目にするようになったこと。「絶対走るの無理！」と言っていた人がパトランに参加したり、SNSに苦手意識を持っていた人がFacebookで積極的に交流するようになったりと、パトランをきっかけに新しい事にチャレンジする姿がいいなあとと思っています。

伊丹はチームが立ち上がってから、1年半が経過しました。初期メンバーだけでなく、次の世代が積極的に活動に参加していますので、メンバーの意見を取り入れチームづくりに活かしていきたいと思っています。伊丹チームはパトランの前後に体操したり、パトラン中の声かけも自衛隊のようにしっかり行うのが特色。「伊丹やるやん！」って言ってもらえるように頑張りたいですね！関西にもチームが増えてきたのでチーム同士連携しながら仲良くパトランを広げていきたいと思っています。



やまその有理さん
1985年兵庫県伊丹市生まれ。
伊丹チーム広報担当としてチーム設立当初から運営に携わる。2018年には大阪マラソンチャリティランナーとしてフルマラソン初完走。伊丹市市議会議員。



パトランナー インタビュー



事務局松田が全国のパトランナーの皆さんに突撃取材してきました！

■今回のパトランナー

石渡栄一郎さん

1982年埼玉県行田市生まれ。昭和57年1月生まれ（37歳）
埼玉県生まれ。行田市職員。10年ほど前から地元のマラソン大会に出走するためにランニングを始める。パトラン JAPAN には2018年2月から参加



事務局 松田

いつも埼玉でのパトランお疲れ様です！
石渡さんがパトランを始めたのは何がきっかけだったんですか？

パトラン伊丹チームで活躍するやまその有理さんに誘われたのをきっかけに、パトランに関わるようになりました。山園さんとは大学院の同期で、とても仲良くさせてもらっています。そんなやまそのさんに誘われたら断れません。笑 松戸チームの合同パトランに参加したのが初めてのパトランでした。



石渡さん



事務局 松田

なるほど～やまそのさん経由だったわけですね。普段はどれくらいの頻度で
どのような時間帯に活動してされていますか？

仕事前の朝5時30頃から50分程度パトランをしています。夜であれば、夕食を済ませた午後8～9時頃からですね。いつも1人で自宅周辺をパトランしていますが、仲間集めの一環として行田市でもPR活動しています。最近では、パトラン中に「頑張れ！」と声をかけていただけることも増えてきました。



石渡さん



事務局 松田

市民の方の応援はモチベーションにつながりますね！
ちなみに、もともとランニングはされてたんですか？

行田市では毎年マラソン大会があるのですが、それに出ていた程度です。
パトランをはじめてから継続的に走る習慣ができました。



石渡さん



事務局 松田

全国的に行政パトランナーも増えてきましたね。行政職員として石渡さんが
感じるパトランの魅力ってなんでしょうか？

市の職員は、仕事では市外や県外の職員とは交流がありませんが、パトランは地域の枠を超えて人とのつながりができます。もちろん、同じ業種の人とも出会う事ができて嬉しいです。自分のやっている事に意味があるのが悩み、くじけそうになった時もありました。そんなことをFacebookのグループに投稿した時、パトランの仲間から励ましのコメントをもらい勇気づけられた事があります。パトランの仲間との絆はとても大きな魅力だと感じています。



石渡さん



事務局 松田

2018年には大阪マラソンのチャリティランナーとして初フルマラソンを完走されましたね。

実はハーフマラソンですら完走したことはありませんでした。それからも何度か、フルマラソンには誘われていたのですが、勇気がなくて断っていました。大阪マラソンにチャリティランナーとして初出場した時のパトランの皆さんの応援は、嬉しくて涙が出るほどでした。



石渡さん



事務局 松田

フルマラソン完走見事でした！！では最後に、石渡さんの
これからの展望についてお聞かせください。

行田市役所内部でも、パトランの認知度は上がってきました。ニュースでパトランが紹介された時は、職員さんから「パトランが出てたね！」と声をかけてもらえるようになりました。行田市も議員さんが若い世代に変わったので、知り合いの議員さんにパトランに関わってもらうなどで仲間を増やし、パトランの輪を地元でも広げていくことができると思っています。



石渡さん



2018年度のお礼とご報告

2018年も活動を支えていただきありがとうございました。平成最後の年は、パトランの基盤を強固にし、これから10年、20年後もパトランが存続し続けられる体制づくりを目標にした1年でした。ひとりひとりが主役となれるパトランにおいて、最前線のパトランナーを支えることが事務局の大きな役割です。組織が大きくなっても、初心は忘れることなく、地に足のついた活動を2019年度も行っていく所存です。



立花 祐平



時安 里江



松田 愛子



高堂 大輔



吉田 真二

代表あいさつ

パトロール×ランニングの 取り組みが全国的に増加

2018年度は日本各地でパトランのような「パトロール×ランニング」の取り組みが加速してきた1年だったように感じます。平成以降、ずっと右肩上がりが増えてきた地域を守る防犯ボランティア団体数は2016年度をピークに減少に転じました。また活動主体の高齢化に伴い、次世代をどう育成していくか。これはどこの地域においても、重要課題であると思います。そんな課題を抱える中、各地域でそれを打破する手段として防犯パトロールにランニングを用いる取り組みが増えてきたことは喜ばしい限りです。

市民が主役のパトラン

日本各地でランニングによるパトロールが増えてきましたが、その多くは警察や自治体、また企業や大学が主体となり連携して取り組みを進めています。それに市民が参加する構図で、発信力や

や組織としての安定感が強みですが、トップダウンの構造であるが故、参加する市民が自主的に考えたり、アイデアを即時実現できるような自由度は高くはありません。反面、パトランの場合は市民が主体となって考え行動していくボトムアップの仕組みです。全体を管理するパトランJAPAN事務局で、最低限の守るべきルールのみを提示していますが、その他は基本的には自由です。これは市民活動には、「余白」が大事であると考えているためです。自らでルールを考えたり、仲間を募ったり、アイデアを考え実現させていったり。そのプロセスの中にやりがいはいっぱいあります。いたずらにそのやりがいを参加者から奪ってしまうことは可能性を積んでしまうのと同じことです。特にパトランの場合は、参加するひとりひとりが主役となれる稀有な活動です。そのパトランナーの価値を社会に向けて証明していくことが代表

としての責務だと感じています。

パトランが自分らしく生きられる場所に

パトランは犯罪なき世の中を実現することを目的に活動を行っていますが、参加するメンバーにも大きな価値をもたらします。それは人とのつながりを紡いだり、社会に貢献していることで自分を誇らしく思えたり、健康的な毎日を過ごせたりと人それぞれ。「パトランを始めて人生が変わった」と言ってくれるメンバーもいますが、これほど嬉しい言葉はありません。いろいろなメンバーを見てきて今思うのは、パトランが自分らしく人生を生きるための居場所になればいいということです。



パトランJAPAN
代表 立花 祐平

寄付で支援する

パトランのさらなる発展と継続のため活動のご支援をお願いいたします。年単位で継続的に応援していただくサポーター、もしくはご自由な額での寄付をお選びいただけます。

個人サポーター

3,000円/年 6,000円/年
9,000円/年 12,000円/年
24,000円/年

団体サポーター

50,000円/年
30,000円/年
10,000円/年

サポーターになると

- ・サンクスレターの送付
- ・活動報告書の送付
- ・パトラングッズの送付

企業協賛

企業の社会貢献の取り組みとしてパトランの活動へのご協賛をお願いしております。詳しくは団体までお問い合わせください。

＜お申し込み方法＞ お申し込みはWEBサイトより手続きいただけます。